

【表1】 2007年再生可能燃料基準(RFS2)における再生可能燃料使用義務量と見直し

(単位:10億ガロン)

年	再生可能燃料 合計		先進型 バイオ燃料		うち、セルロース ベース		うち、バイオ ディーゼル		先進型バイオ 燃料以外(※)	
	オリジナル	修正	オリジナル	修正	オリジナル	修正	オリジナル	修正	オリジナル	修正
	2009	11.10	-	0.60	-			0.50	-	10.50
2010	12.95	-	0.95	-	0.10	0.0065	0.65	(2年合計)	12.00	-
2011	13.95	-	1.35	-	0.25	0.0060	0.80	-	12.60	-
2012	15.20	-	2.00	-	0.50	0.0087	1.00	-	13.20	-
2013*	16.55	-	2.75	-	1.00	0.0060	≥1.00	1.28	13.80	-
2014	18.15	15.93	3.75	2.68	1.75	0.033	≥1.00	1.63	14.40	13.25
2015	20.50	16.30	5.50	2.90	3.00	0.106	≥1.00	1.70	15.00	13.40
2016	22.25	17.40	7.25	3.40	4.25	0.206	≥1.00	1.80	15.00	14.00
2017	24.00		9.00		5.50		≥1.00	1.90	15.00	
2018	26.00		11.00		7.00		≥1.00		15.00	
2019	28.00		13.00		8.50		≥1.00		15.00	
2020	30.00		15.00		10.50		≥1.00		15.00	
2021	33.00		18.00		13.50		≥1.00		15.00	
2022	36.00		21.00		16.00		≥1.00		15.00	

-はオリジナル義務量(法令ベース)から変更なし、*2013年の達成期間は2014年9月末まで延長

(※)再生可能燃料合計から先進型を除いた計算値。事実上はトウモロコシベースのエタノール。

2014年以降の修正値(赤字)は、2015年5月29日のEPA提案ベース(確定ではない)

出所:US EPA(米国環境保護庁)公表資料を基に丸紅経済研究所作成